

六百年の歴史を刻む

近江 篠原もち



篠原もち復活プロジェクト

株式会社南農園 滋賀県野洲市大篠原1955

電話 077158711305

※ご予約は前日までをお願いします。(3個入・6個入)

篠原もちの由来

野洲市大篠原一帯は、古くから在来稻の「篠原糯」^{もち}が栽培されており、その糯米から作られた「篠原もち」は江戸時代には他藩にまでその名が知られていました。

かつて、この地域ではうるち米を植えても、もち米になつてしまふといわれ、水や土壌が糯米の栽培に適していたと考えられます。その「篠原もち」で太陽を模した像を作ったところ、鏡のようになつたことから「鏡もち」の発祥の地といわれています。

また、地元の国宝大笹原神社の境内社の篠原神社（二四二七年）は、篠原糯に感謝して造営されたとされ、別名「餅の宮」と呼ばれています。しかし、この歴史ある篠原糯の栽培は昭和初期に一旦は途絶えましたが、幸いなことに篠原糯の種子が農水省の種子保管施設で保存されていました。

平成十二年に地元有志の農家が、農水省から篠原糯の種子を譲り受け、栽培を復活されました。

この古い歴史のある「篠原もち」を、平成二十九年から手軽に食べられる大福餅として、鏡餅・切り餅・あらは平成三十年から製造販売を始めました。「篠原もち」が、これからも永く地域の宝とし残つてほしいとの願いからです。歴史の重みと素朴な味わいを持つ「篠原もち」をご賞味頂ければ幸いです。

